

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、学校教育目標を「差別の現実には学び、人権教育を実践する。」とし、めざす子ども像を、

- ・現実を正しく見つめ、差別を許さない子どもの育成
- ・自分のものとして学力をしっかりと身につけて行く子どもの育成
- ・一人ひとりをみんなで、みんなのことを一人ひとりが考える集団の育成

と設定し、人権教育を基盤に、一人ひとりの良さや可能性をのばし、「生きる力」を育む教育活動を推進してきた。

しかし、子どもたちを取りまく環境はますます厳しくなっている。21世紀のグローバル化、ICT化・少子高齢化等の急激な社会状況の変化は、児童や家庭・学校を取り巻く環境に様々な影響をもたらし、将来が予測困難な時代に直面すると危惧される。教育においては、学習指導要領の改訂によって提示された「主体的・対話的で深い学び」を追求するとともに、道徳教育、外国語科・外国語活動、プログラミング教育等、新たな教育課程の充実にも努めなければならない。

このようななか、今年度も、本校が重点課題として大切にしてきた「学力保障」と「集団の育成」に向けた特色ある取り組みと大阪市教育振興基本計画にある三つの最重要目標に向けた取り組みを一層推進していく。

本校の「授業が変われば子どもが変わる」を合言葉に、真摯に授業改善に取り組んできたことで学力面や生活面での課題は少しずつ改善されてきたが課題も残る。以下にその現況を示す。

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にすると再設定する。 ➡80.7% (年度目標 80%以上 **達成**)
- 学校保護者アンケートにおける「友だちとお互いの違いを認めながらなかよくできている」について肯定的に回答する保護者の割合を95%以上にする。 ➡91%(年度目標 90%以上 **達成**)
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合 90%にする。 ➡91.3% (年度目標 85% **達成**)
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。 ➡75% (年度目標 78% **未達成**)
- 児童アンケートにおいて「読書が好きである」について、「とても思う(思う)」と答える児童の割合を80%以上にする。 ➡71% (年度目標 75% **未達成**)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、40%以上にする。 ➡33.1%（年度目標 38% **未達成**）

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全市比（標準化得点）を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も 100 を上回る。

➡国語 4年 97.2→98.9 5年 99.2→95.3 6年 96.1→97.5
算数 4年 98.2→98.1 5年 99.1→96.5 6年 97.9→98.9

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 70%以上にする。 ➡61.5%（年度目標 70% **未達成**）

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である「握力」「反復横跳び」「長座体前屈」の平均記録を、令和3年度より3ポイント向上させる。

➡男女別6項目において4項目で向上、2項目で低下。

	握力	反復横跳び	長座体前屈
令和3年度	男) 13.1 kg	男) 39.4 回	男) 27.7 c m
	女) 16.0 kg	女) 36.4 回	女) 34.3 c m
令和5年度	男) 12.9 kg (0.2 ↓)	男) 42.1 回 (2.7 ↑)	男) 28.4 c m (0.7 ↑)
	女) 12.6 kg (3.4 ↓)	女) 38.4 回 (2.0 ↑)	女) 32.9 c m (1.4 ↓)
令和6年度	男) 15.5 kg (2.4 ↑)	男) 39.3 回 (0.1 ↓)	男) 28.7 c m (1.0 ↑)
	女) 15.7 kg (0.3 ↓)	女) 38.9 回 (2.5 ↑)	女) 33.9 c m (0.4 ↓)

【学びを支える教育環境の充実】

○本校教員の児童の ICT 活用を指導する能力に対する肯定的な割合を 85%以上にする。 ➡85.5%

○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を 75.4%以上にする。 ➡96.8%（年度目標 84.7% **達成**）

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答する児童の割合を 90%以上にする」と再設定する。
- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめの解消に向けて対応している割合を毎年 95%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 92%以上にする」と再設定する。
- 学校保護者アンケートにおける「友だちとお互いの違いを認めながら仲良くできている」について、肯定的に回答する保護者の割合を 90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、40%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比(標準化得点)を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も 100 を上回る。
- 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 70%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である「握力」「反復横跳び」「長座体前屈」の平均記録を、令和 3 年度より 3 ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 児童アンケートにおいて「読書が好きである」について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 本校教員の児童の ICT 活用を指導する能力に対する肯定的な割合を 85%以上にする。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 2 を満たす教員の割合を大阪市令和 4 年度末数値より 10 ポイント改善した 84.7%以上に再設定する。

※基準 2：1 年間の時間外勤務時間が 720 時間以下、時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 6 以下、時間外勤務時間が 100 時間を超える月数 0、直近 2～6 か月の時間外勤務時間の平均が 80 時間を超える月数 0、すべてを満たす。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を81%以上にする。
- 学校保護者アンケートにおける「友だちとお互いの違いを認めながら仲良くできている」について、肯定的に回答する保護者の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を86%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を38%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を85%以上にする。
- 児童アンケートにおいて「読書が好きである」について、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

- ※引用 「令和5年度全国学力・学習状況調査 結果」（株式会社教育測定研究所）
「令和5年度大阪市学力経年調査 結果」（東京書籍株式会社）
「令和5年度全国体力・運動能力運動習慣等調査 結果」（スポーツ庁）

大阪市立清水小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を81%以上にする。</p> <p>●学校保護者アンケートにおける「友だちとお互いの違いを認めながら仲良くできている」について、肯定的に回答する保護者の割合を90%以上にする。</p> <p>●小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を86%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1-1 いじめへの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや差別を許さない心情を育む。 ・人権教育に関わる研修を行うことで、教職員の人権意識を高め、児童理解の充実を図る。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回以上人権・平和・仲間づくりについて考える全校集会を行う。 ・月1回以上の児童理解の場を設け共通理解を図る。 ・「心の天気」を通して、児童の実態把握を行い、日々の指導につなげる。 ・学期に1回のいじめアンケートを通して、いじめを許さない環境づくりを行い、よりよい人間関係の構築に努める。 	
<p>取組内容②【施策2-1 道徳教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活目標や強調週間を設け、子どもたちの規範意識を高める。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「気持ちのよいあいさつをする」「時刻を守る」「自分で考えて行動できる」を軸とする環境をつくりあげ、児童の意識を高める。 ・「みんなのやくそく」を周知し、安全な学校生活をめざす。 ・年間1回以上「あいさつ週間」に取り組む。 ・道徳の授業を充実させるとともに、教育活動を通して「きまりやルール」を守る意識を高める。 	

<p>取組内容③【施策2-4 インクルーシブ教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「共に学び、共に育ち、共に生きる」インクルーシブ教育を推進し、児童の自立を支援するシステム・環境整備を進める。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の部会や個別の課題について検討する場を設定し、教職員間の共通理解を図る。 ・「学校と親の会」を学期に1回開催し、学校と保護者の連携を図る。 ・近隣の特別支援学校との交流を通して、障がいについての知識、理解を深める。 	B
<p>取組内容④【施策2-5 多文化共生教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な体験活動を通して、児童自らが自主的・自発的に国際理解、多文化共生の学びに取り組む機会を充実させる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク等、体験的な活動を実施する。 ・芸術文化の観点でふれ合う（観劇鑑賞を含めた）機会を年1回以上設ける。 ・総合的な学習や学級活動を通して、児童が主体的に学ぶ国際理解・多文化共生教育の場を設定する。（日本の伝統文化、SDGs等も含む） ・民族講師やC-NET等との交流を全学年で年1回以上実施する。 	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子サポ委員会」の月1回の実施と、報告内容の精選要。 ・心の天気の入力の徹底が必要。ICT担当より月に1回振り返りの機会を作る。また、入力した内容を活用するには至っていない。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「時間を守る」は比較的できるようになってきた。 ・「自分で考えて行動できる」はまだ少数。目標としては高く感じる。 ・あいさつ週間を実施することができた。成果があったかは不明。 <p>取組内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会を実施し、共通理解できている。しかし学年間まで確実に伝わっているかが不安。 ・2学期の「学校と親の会」は、運動会前に実施できれば保護者と相談しやすい。→運動会前に実施している「親の会」と交換していいかも。 <p>取組内容④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画通り概ね実施できている。 	
<p>後期への改善点</p>	
Empty space for improvement points	

大阪市立清水小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を 38%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 65%以上にする。</p> <p>●小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策4-3 英語教育の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校で外国語教育を推進する。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝のモジュール(10分)を活用して、全学年で外国語活動を実施する。 ・日常的に外国語にふれることができるように環境を整備し、児童が自発的に外国語に親しめるようにする。(掲示物を工夫し増やしていく等) 	
<p>取組内容②【施策4-2 「主体的・対話的で深い学び」の推進（各学校の実態に応じた個別支援の充実）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究主題「子どもたちが主体的に楽しく学べる授業づくり」の実践や公開授業を通して、授業力の向上を図る。 ・「主体的・対話的で深い学び」へとつながる授業実践に努める。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教員が1回以上の研究授業等を行う。 ・メンター研修を中心に、外部講師を招聘する。 ・研究主題に基づいた研修会や討議会を、学期に1回以上実施する。 	
<p>取組内容③【施策5-1 体力・運動能力向上のための取り組みの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動する喜びやできる喜びを味わえる活動を通して体力向上を図る。 	B
<p>指標</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・児童が日常的に運動に親しめるように環境整備を行う。(走・ボール運動等) ・なわとび、かけあし等の取り組む時間を設定し、体力づくりにつなげる。 ・トップアスリートの招聘や体力サポート事業を活用し、運動への興味関心を広げる。 ・新体力テストの結果を経年で分析することで、体育の学習や運動活動の見直しを図り、児童の体力向上に努める。(Excel で入力し学期末に学年で分析等) 	
<p>取組内容④【施策5-2 健康教育・食育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自らが生活習慣を振り返ることができる取り組みを通して、自身の健康意識を高める。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健だより等を活用し、児童自らが生活習慣を見直すことができるようにする。 ・学校保健委員会を年1回実施する。 ・保健だよりや委員会活動を通じて、保護者・地域・児童への啓発を行う。 ・給食週間の取り組みを年1回以上実施する。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝のモジュールタイムでは、外国語担当の教員が、児童が楽しく英語を学べるようにビデオを作成している。内容も素晴らしい。モジュール学習がスムーズに進められ、児童が意欲的に外国語活動に取り組むことができている。また、放送委員がモジュールの日に外国語で挨拶をしている。 ・工事の関係もあり進捗中ではあるが、西階段に英語の掲示物を増やすなど外国語にふれることができるような環境づくりを行っている。今後、さらに増やしていく予定。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教員が研究授業を計画的に実行している。 ・メンター研修では、外部講師ではないが、校内のスペシャリストを中心にメンター研修を実施しており、指導助言が行われている。(体育研修・特別支援研修など) ・研究についての研修会や討議会は実施されている。 <p>取組内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が日常的に運動に親しめるよう、15分休憩時には南運動場開放が行われている。 ・なわとび・かけあし等の取り組みは、3学期に計画されている。 ・トップアスリートや体力サポート授業に積極的に申込み、活用している。 ・体力テストの結果をExcelに入力し経年で比較できるようにすることができた。 <p>取組内容④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画通り実施されているものと、今後計画されているものがあるが、概ね計画通りである。 ・学校保健委員会は1月に開催予定。 ・保健だよりなどで、児童が生活習慣を見直す機会が設けられている。 ・食育通信も毎月発行されている。 	

後期への改善点

取組内容①

- ・ 掲示物を工夫し増やしていくとあるが、増えていないしどの担当が何を増やすのかを明確にする必要がある。

取組内容②

記述なし

取組内容③

- ・ 現在、15分休みに南運動場の開放があるが、それ以外の環境整備の具体例が知りたい。15分休みの南運動場開放への参加者が少ない。3～6年生（1，2年生もみんな遊びなら可）は今後南運動場を使うよう各学級での声かけをしていく。ただ、バスケットボールをしたい児童もいるので、南運動場にバスケットゴールを設置する等の環境整備が必要ではないか。
- ・ 新体力テストの結果を分析し、体力向上につなげるには至っていないことから、入力内容を容易に（分かりやすく）分析・活用できるツールが必要なのではないか。5・6年生が1学期末に使用していた、体力テストの結果が視覚的にわかりやすくまとめられるテンプレートを全体で共有してほしい。
- ・ 新体力テストの結果を入力し、各家庭に配布したが、各学年で分析し体力向上できる取組を考えるまでには至っていない。
- ・ 新体力テストの結果を返却できたことはよかったが、全学年で統一の形式があるとよい。しかし、結果を学期末に分析することはできていない。（入力のみに残っている。）
- ・ 来年度は、全学年共通で使えるテンプレートあり。

取組内容④

- ・ 残食を減らすことも大切だが、「楽しく食事をする」「感謝の気持ちをもって食べる」「いろいろな食べ物に親しむ」ということに重きを置いて指導を続けていく。

(様式 2)

大阪市立清水小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕</p> <p>○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 85% 以上にする。</p> <p>●児童アンケートにおいて「読書が好きである」について、肯定的に回答する児童の割合を 75% 以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 6 - 1 ICTを活用した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none">・ ICT 等を活用した授業づくりを行う。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 児童用端末の積極的な活用を図る。・ ICT を効果的に活用できる環境整備を行う。・ ICT を積極的に活用した授業実践を行う。	B
<p>取組内容②【施策 7 - 1 働き方改革の推進】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自己の働き方を調整して、効率よく仕事を進め、児童と向き合う時間を作る。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 交換授業を積極的に行う。・ 毎月月末近くに超過勤務時間を確認し、自身の勤務時間の調整を行う。	B
<p>取組内容③【施策 8 - 2 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 図書館開放等、図書ボランティアや読み聞かせボランティアとの連携を図り、読書環境を整備する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 児童の実態に応じて、本に親しむ機会を工夫する。(低・中・高別)・ 魅力ある「学校図書館」を目指し、読書環境整備を行う。・ 読み聞かせ会、アニメーション等、読書の楽しさを伝える取り組みを進め、読書に親しむ機会を増やすことで、図書館の利用を増やす。	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>学習者用端末の活用率の数値化が難しく、把握できていない。</p> <p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none">・ デジタル教科書や SKYMENU Cloud 等を活用するなど、ICT を積極的に取り入れた授業実践を行っている。・ 学習者用端末の活用については、学年によってバラつきがあるように思う。(1 年生は端	

末が整備されたばかり等)

- ・昨年度の ICT 環境の整備は把握しているが、今年度はどういった整備をしているのかが分かりにくい。新しい端末が今後整備されることで、使いやすくなっていくのではないかな。

取組内容②

- ・交換授業に関しては、道徳を中心に積極的に実施している学年と実施していない学年がある。教科（時数の関係等）によっては、交換が難しい教科もある。他学年の状況も共有できたらよいのではないかな。
- ・勤務時間を大幅に超えて働いている人は、減ってきているように感じる。職員会議後などに、各自が自己の勤務時間数を確認する習慣がついてきている。ただ、自分自身で勤務時間の調整をするだけでは、働き方改革はなかなか進まないのではないかな。学校全体として取り組む必要がある。

取組内容③

- ・低・中・高別での本に親しむ機会が工夫できているかどうか分からない。
- ・学校図書館が工事の関係で、狭くなったり照明が暗くなったり、大幅な本の移動も強いられたりした。しかし、そういった環境が良くない中でも、少しでも早く児童が本を読むことができるように、担当、図書館司書の方を中心に環境整備をしてくれた。また、図書館司書の方が本の整理や分類、本の種類の充実などを考えてくれている。
- ・図書ボランティアさんが、継続して朝の読み聞かせや図書館開放を行ってくれているので、子どもたちも本に親しむ機会をもつことができている。また、読書ノートの活用も進めている。
- ・ほっとスペースの担当者がはっきり決まっていない現状がある。（玄関のほっとスペースの必要性についても検討が必要）

後期への改善点

取組内容①

- ・学習者用端末を効果的に活用した授業を、今後も各学年で取り組んでいく。
- ・新しい機器や端末が配備された際には、学校全体で使い方等を共有できるようにする。

取組内容②

- ・低学年は道徳の交換授業をあまり行うことができていないので、今後学年で話し合い、効率よく授業づくりを行うことができるようにする。
- ・児童と向き合う時間を確保するために、来年度に向けて行事や会議、研修等の実施を検討する場を設定する

取組内容③

- ・今年度は工事もあり、限られた中での活動となると思うが、継続し、実施していく。
- ・アニメーションの実施や本に親しむ機会の工夫（低・中・高別）という項目の内容をもっと具体化、明確化していく必要がある。
- ・ホットスペースの担当者を明確にして、本の充実を図っていく。

